

東海市地域公共交通網形成計画の推進について

1

| | |
|------|-------------------------------|
| 基本方針 | 1 : いろいろな交通機関がなかよくつながる公共交通づくり |
| 目 標 | 1 : 地域の骨格を形成する公共交通の構築 |
| 施 策 | 1 : 公共交通ネットワークの充実 |
| 実施事業 | 2 : 路線バス・らんらんバスのサービス向上へ向けた再構築 |

(平成30年度)

- 1 らんらんバスに対する意見聴取 (実施済)
- 2 らんらんバスの課題解決に向けた検討
- 3 路線バスの利用者増加に向けた検討

●事業の背景と内容

平成27年5月2日にらんらんバスのダイヤ及びルート改定を行い、平成28年8月27日より75歳以上の市民を対象とした高齢者循環バス利用促進事業を実施し、バス利用者は急激に伸びている。一方で、利用者の増加は乗降時間の増加を招いており、一部ダイヤに遅延が生じている。また、混雑時には立席で利用する高齢者も多く、車内事故等に繋がる可能性も高い。さらに、地域ごとに公共交通に対する課題を抱えている。

高齢者循環バス利用促進事業実施から、8月で2年が経過することから、課題解決に向けた見直しについて検討を実施する。

路線バスは平成28年8月に横須賀線の一部が廃止され、残りの横須賀線及び上野台線においても運行本数の見直しが実施された。また、平成30年6月にも上野台線の運行本数の見直しが実施された。特に、横須賀線は利用者が少ないことから、国庫補助を受けている。

路線維持に向けた運行形態の見直し等を実施するために、運行事業者と関係市(東海市・大府市)間での協議を実施する。

●実施時期等(予定)

- 1 らんらんバスに対する意見聴取・・・・・・別紙資料3参照
- 2 らんらんバスの課題解決に向けた検討
平成30年度及び31年度の東海市地域公共交通会議の中で協議する。
- 3 路線バスの利用者増加に向けた検討
平成30年度に協議を行うとともに、実態調査やアンケート調査を必要に応じて実施する。

| | |
|------|-----------------------------------|
| 基本方針 | 2 : みんなで使って、みんなを支える公共交通づくり |
| 目 標 | 5 : 環境や健康に配慮して、かしこく公共交通を使う |
| 施 策 | 10 : モビリティ・マネジメントの実施 |
| 実施事業 | 1 : 地域、学校、職場を対象にしたモビリティ・マネジメントの実施 |

(平成30年度)

- 1 らんらんバスの乗り方教室
- 2 東海市高齢者大学でのらんらんバス利用講座

●事業内容

マイカー社会の進展に伴い、バスの乗車経験がなく、乗り降りの仕方を知らない児童が増えている。そこで、公共交通であるバスに親しみ、バスへの理解と関心を高めるとともに、将来的な利用者につなげるため、小学生を対象としたバスの乗り方教室を実施するもの。

また、75歳以上の市民を対象とした高齢者循環バス利用促進事業により、高齢者の利用者は増加し続けているが、バス利用に対して不安を持つ高齢者も存在していることから、バスの利用方法等について学ぶ講座を高齢者大学で開催するもの。

●実施時期等

- 1 らんらんバスの乗り方教室
別紙資料6のとおり
- 2 東海市高齢者大学でのらんらんバス利用講座
平成30年11月に文化センターをはじめ市内6会場(各会場70～100人)で実施

| | | |
|------|----|--------------------------|
| 基本方針 | 3 | 公共交通を使った活発な交流を促進する仕組みづくり |
| 目 標 | 7 | 公共交通を使った高齢者の外出促進 |
| 施 策 | 13 | 公共交通を利用したくなる取り組み |
| 実施事業 | 2 | らんらんバス車内でのイベントの検討・実施 |

(平成30年度) らんらんバスギャラリーの実施

●事業内容

循環バス6台のうち、中ルート「さつきちゃん」号2台の後部座席の広告掲出箇所に、市内園児が描いた絵画作品を展示し、親子や祖父母の利用を促進するもの。

●実施時期

| | |
|----------|----------------|
| 平成30年 9月 | 富木島保育園園児の作品を展示 |
| 平成30年10月 | 明倫保育園児の作品を展示 |

●参考

らんらんバスギャラリーについて 別紙資料7のとおり